

4-12 伊東市赤沢1・6号温泉井の自噴量・導伝率・水温変動  
(~1993年5月)

Fluctuations of Discharge Rate, Electric Conductivity and Water  
Temperature of the Akazawa Hot Spring Wells No.1 and No.6 in Ito City, Izu  
Peninsula (-May 1993)

地質調査所  
Geological Survey of Japan

前報告<sup>1)</sup>に引き続いて、伊東市殖産土地浮山温泉赤沢1・6号温泉井における1993年5月までの観測結果を報告する。

両観測井における最近1年間の観測記録を第1図に示した。この1年間においては、温泉の利用が盛んな時期(夏休み、冬休み、黄金週間)に、1号と6号の自噴量が減少し、1号の導伝率が増加した以外には、概ね変動が少なかった。水温の長期変動パターンは吉川・永井(1990)<sup>2)</sup>のモデルに良くあった変動を示した。

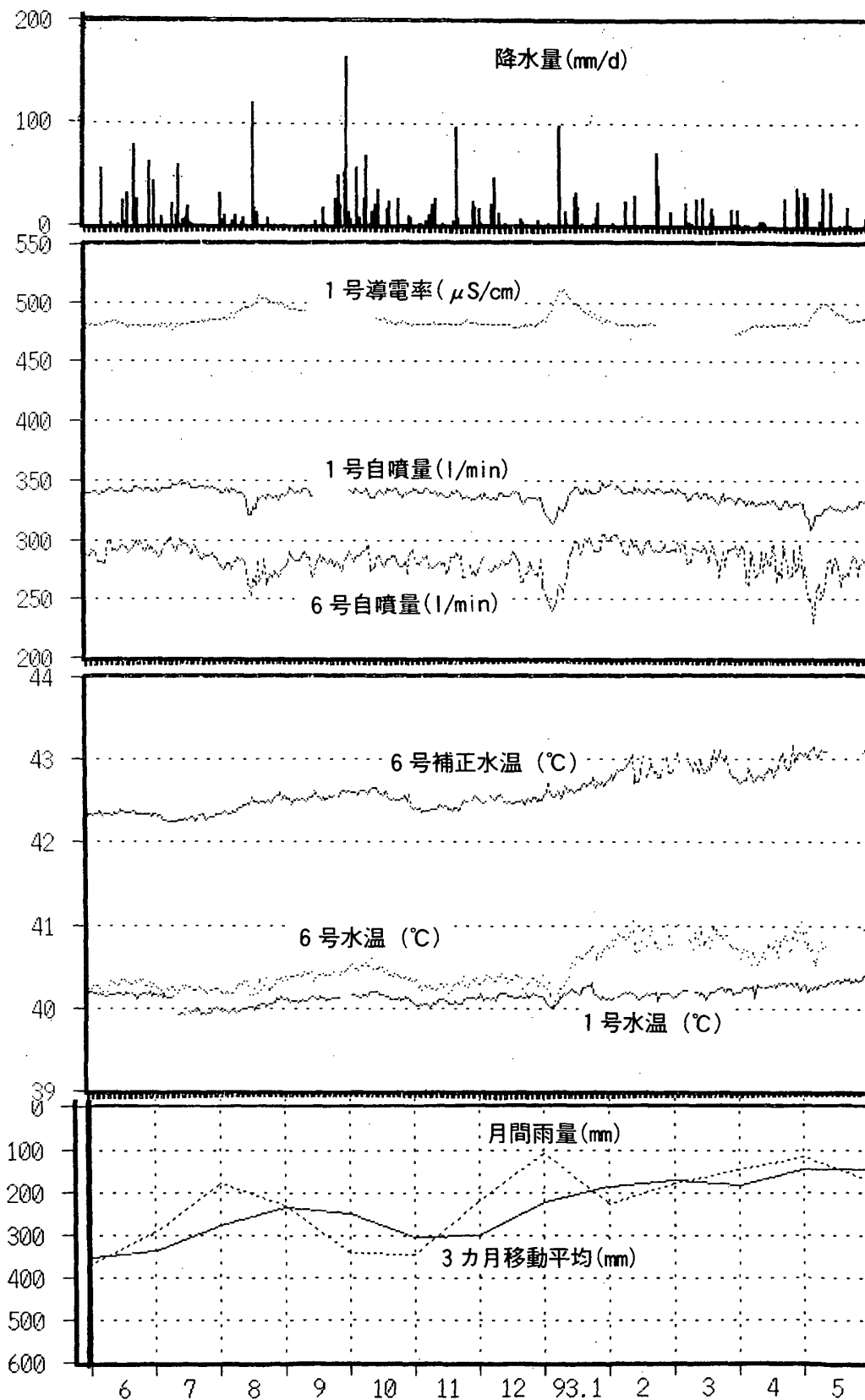
1993年5月後半から始まった伊東周辺の群発地震に関連して、1号と6号の自噴量と1号の水温(6号の水温は機器不調)が増加しつつある。

赤沢1号において1979年より実施している水質定期観測結果のうち、塩化物イオン濃度変動を第2図に示した。

(吉川 清志・永井 茂)

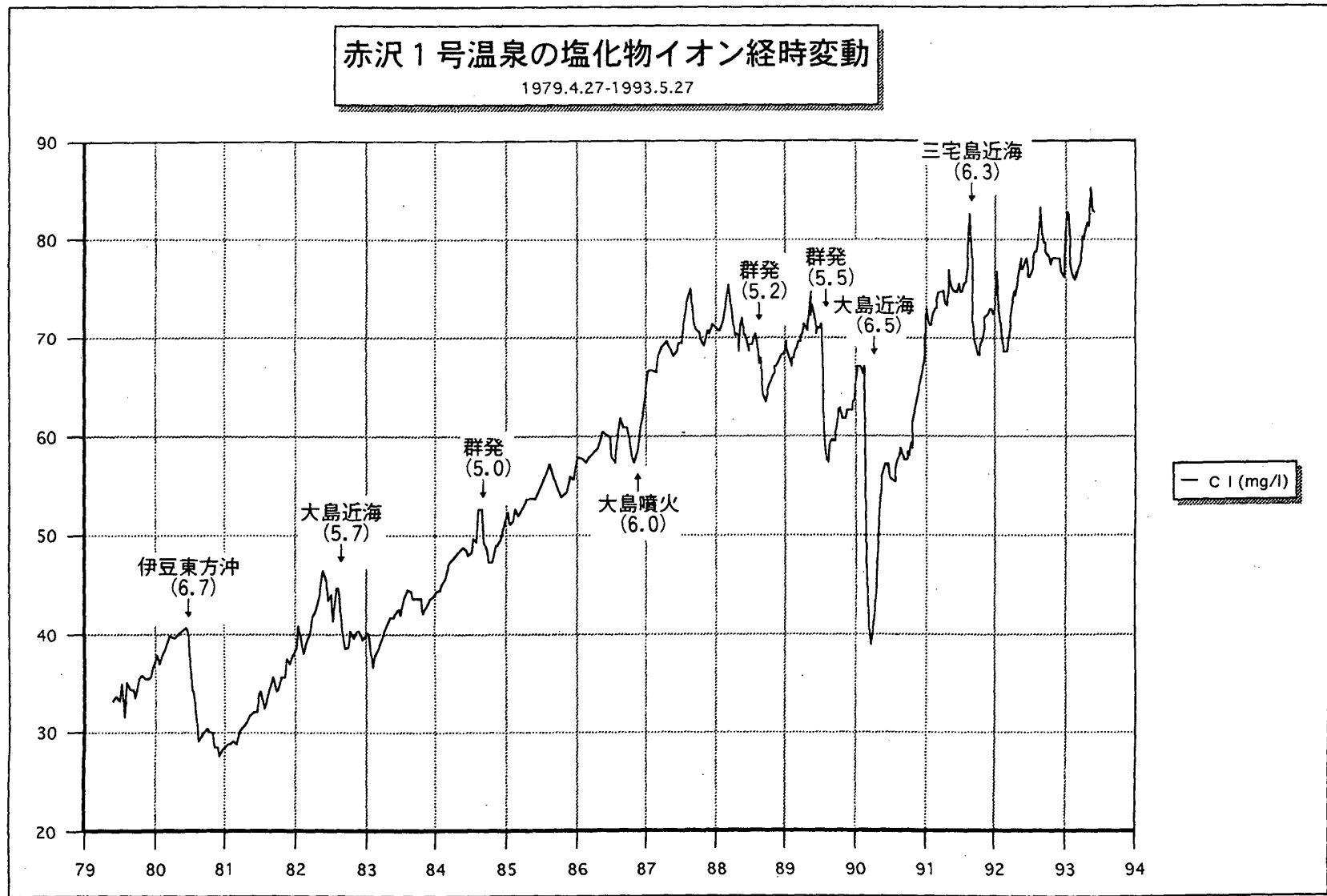
参 考 文 献

- 1) 地質調査所：伊東市赤沢1・6号の自噴量・導伝率・水温変動(~1992年4月)，連絡会報，48(1992)，277-284.
- 2) 吉川清志・永井 茂：伊東市赤沢6号温泉井の自噴量・水温変動とその原因，地震，第2輯，43(1990)，243-256



第1図 赤沢1・6号井の自噴量・導伝率・水温変動と降水量 (1992年6月~1993年5月)

Fig.1 Fluctuations of discharge rate, electric conductivity, water temperature and precipitation of the Akazawa wells No.1 and No.6.



第2図 赤沢1号温泉井の塩化物イオン濃度経時変化

Fig.2 Fluctuation of chloride-ion concentration in water of the Akazawa well No.1.